



美 唄

B i b a i

健康フェスタ

7月25日(日)美唄保健センターにおいて、健康フェスタが開催され、美唄歯科医師会による歯科ドックが行われました。

当日は朝から暑く、真夏日の中、同時開催の市民ふれあいまつりでは縁日・バザーや生バンド演奏、おみこし・餅まきなどが行われ夏っぽい雰囲気となりました。

歯科ドックの検査項目は例年より多く、歯科医師2名、歯科衛生士2名によりRDテスト・唾液量測定・唾液緩衝能検査・唾液潜血テスト・咬合力測定・口臭測定そして歯科相談が行われました。また同会場では歯ブラシ・補助清掃用具などの口腔ケア用品が展示されました。

来場者は2歳の子から81歳の方まで幅広く来ていただき、その中でも60歳・70歳代の女性の方々が中心でした。熱心に唾液の役割・唾液と咀嚼の関係などの説明を聞いている方や口臭測定の待ち時間に口腔清掃指導ビデオを真剣に見ている方がほとんどで、口腔への関心の高さがうかがわれました。そして来場者全員に各種パンフレット・歯ブラシ・歯磨き剤・ティッシュ他の入ったグッズが贈られました。

今年は財政上の問題を抱える美唄市との連携・



開催日時の決定にやや時間がかかり、PR活動が出遅れてしまったため例年よりも少ない来場者数となってしまいましたが、検査項目数が増え充実した内容となったと思います。今後はう蝕になりやすい世代・そのお父さんお母さんなど成人の方々にももっと来ていただけるようPRの方法を課題にしていきたいと思っています。

今回担当の平 隆一先生、歯科衛生士さん、会場案内および準備から奮闘して下さった事務の近藤さん、お手伝いの方大変ご苦労様でした。また暑い中差し入れを持ってきて下さった宝崎美歯会会長ならびに小森先生、どうもありがとうございました。

(高橋典弘記)

暑い暑い夏なのに

任期満了に伴う美唄市長選が、3期目を目指す現職に対し前部長が挑戦一騎打ちの様相のまま、9月5日告示、12日投票で全市を2分して、白熱化している。

農業・建設業界は分裂状態のまま終盤をむかえている。自民党美唄支部は7月中旬の拡大役員会で、今回市長選は自主投票を決定した。

民主党も自民の自主投票の関連から、推せんは見送ったようである。

最も注目の自民柿木道議後援会では、どちらにも組まないという姿勢を堅持すると春の役員会で決定済みであるが、8月2日改めて役員会を持ち、その冒頭、道議後援会長・幹事長・事務局長は、いかなる場合も中立を堅持し行動を慎むことを申合せた。柿木道議より「特に特別の事情のないかぎり後援会は中立を保持してほしい。選挙は終盤になると憶測・中傷が多くなるだろうが、しっかりした信念で臨んでほしい。どちらが当選しても厳しい財政には変りはない。私は私なりに美唄のために頑張りたい」と発言して役員会の自重を促した。現時点では5日告示12日投票である。

(雨田 実記)